



子ども・子育てを支えるプラットフォーム ～支援の受け手が支え手にもなる社会～

NPO法人せたがや子育てネット 代表理事
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事
松田妙子

松田妙子 自己紹介

★渋谷区育ち。工務店を営む母方の祖父母と同居。
民生委員だった祖母の「まちのよろず相談」の現場を
見て育つ。身近な場でのよろず相談。

★福祉学科で学ぶ。

「大人も子どもも放課後が大事！」

★こどもの城で「人と関わって遊ぶ」部署で働く。

「地域で一緒に育つ・一緒に育てる」

★1998年夫の転勤先の三重県津市で

第1子5ヶ月の時、ママの部室「赤ちゃんサロン」開催。

「あいま通信」発行。当事者主体の活動の化学反応

★2001年世田谷で産前産後支援開始。一つの団体・

場所だけではダメ！ネットワークが必要！と考える。

★ベビーカーマーク、授乳室マークなどに関わる

「ミクロとマクロをつなぐ、メゾ」アドボケート



1998年～2000年 NPO法成立前後 三重県～愛知県時代

- 北川知事直轄のNPO室準備室
- メディアに載ったら会場費が減免に！
- 「相互支援」「セルフヘルプ」の気軽さと脆さと重要さ
- ミッションがあれば、「えらいねえ」でめげない
- 100人の「ワークショップ」「行政は市民が育てる」
- 東海豪雨で学んだこと

2001年～ 少子化対策って何？ 渋谷→世田谷 4つ葉プロジェクト

- 「ご褒美」の活動拠点→自分たちでつくる「居場所」
- 「はい、なんでしょう」「利用者ですけど・・・」
- 「教育」「福祉」「保健」「医療」の死角
- 「障害者・高齢者等」の「等」に入れてもらう
- 乳幼児に居場所って必要なの？
- アンテナが立つと街の中でみえてくる→語り部必要

2015年～ 税と社会保障の一体改革 子ども子育て支援法

- 消費税の用途に子ども子育てが入って恒久財源に！
- 地域の実情にあわせて地域で計画をたてる
- パブリックコメントじゃ遅いよ
- ベビーカーはたたまずに乗ることができます
- 地域運営型で手挙げ方式で空白地にひろばを
- 5年前はファミサポさん、いまは里親さんを・・・

エピソードからはじまる

- 「夕暮れ時にバスで乗り越して降りた、知らない街のバス停にいるみたい」

→身近な地域で子育て家庭をしっかりと受け止められるひろばにしたい！

- 「お祭りで焼きそばを買ったけれども地域の絆をちつとも感じなかった」

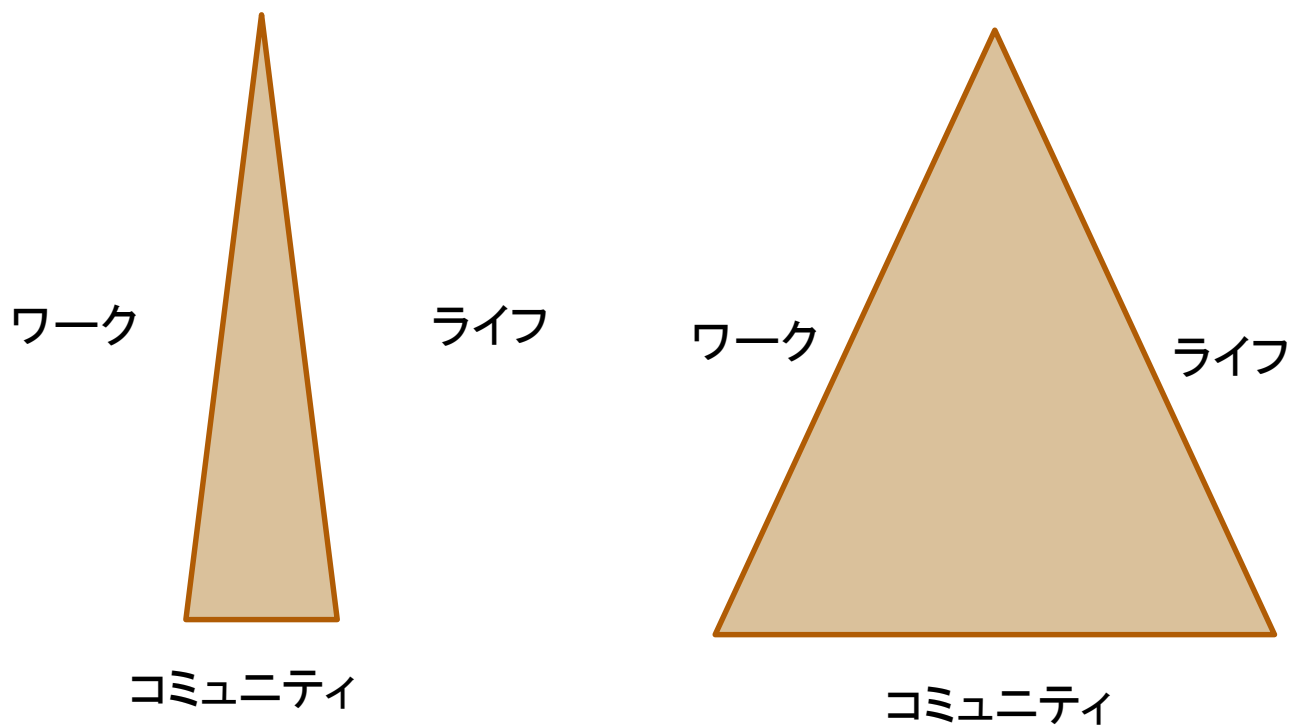
→子育てひろばに来ていていいの？

地域全体で子育てをウェルカムにするために私たちがやるべきこと

- パン屋さんからの電話
「弁護士さん紹介して」

→フォーマルな機関とも、インフォーマルな資源とつながっている
私たちだからこそできる相談事業

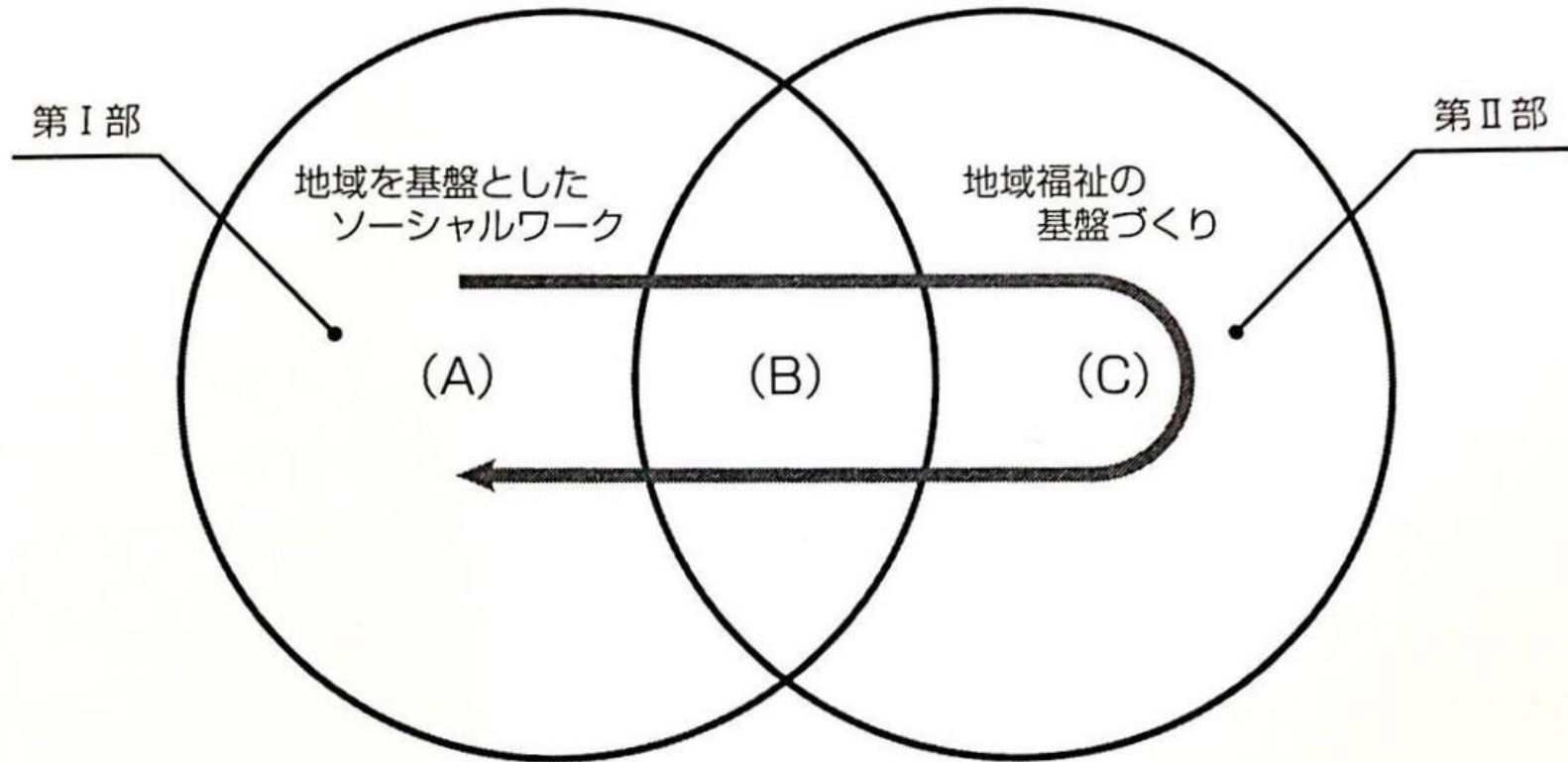
ワーク・ライフ・コミュニティバランスを！



子育てが始まる時期は「コミュニティ」の底辺をひろげやすい。
地域とつながるチャンス！

個と地域の一体的な支援

図0-2 「地域を基盤としたソーシャルワーク」と「地域福祉の基盤づくり」の位置づけ



- (A) 個を地域で支える援助
- (B) 個を支える地域をつくる援助
- (C) 地域福祉の基盤づくり

区民版子ども子育て会議

計画策定と並行して市民の対話の場をつくろう



- 手弁当ではじめる。(数人からでも、いつからでも)
- 参加者に「ここにいたらいいなという人を連れてきてね」と頼む
- 対等な立場で、要望の場ではないことを確認。
「切れ目ない支援」「外遊び」「働き方」官民まじえてもいあがる！
- 場所は行政が確保してくれるようになる。
- 食べながら、飲みながら
- 終わると必ず懇親会
- 日常のつきあいに発展

私たちにも
役割がある！



いきなり「面」で始まる支援 (地域子育て支援拠点事業)



地域の中の
「共同養育」
の場を
つくっていく



おでかけひろばぶりっじ@roka

目標： 団地に立ち話ができる関係を増やす

- ⇒街で挨拶する人が増えた。
- ⇒外で遊ぶ機会が増え、地域の人が声をかけてくれるようになった。
- ⇒地域住民としてボランティアに参加できた。
- ⇒当事者も運営に関われる
子連れにも役割があり嬉しい。

「子どものいる暮らし」
「子どもの育ち」を支える



—— 街に、ルネッサンス ——

どんなシーンがつかいだせるか？ 「パパが帰ってくる11時まで、ワンオペなんです」



月に1度の夕食会「ろかめし」
「お米欲しいな」で、80キロ集まった♪
仕事帰りのシングルマザー、ぶりっじを卒業したこどもたち、急いで仕事切り上げてくるお父さん、団地の一人暮らしの高齢の方、施設で働く若手職員、落研の学生も…

年忘れ大演芸大会の価値

年忘れ **演芸大会**

楽しいこといっぱい！
年の瀬に、みんなで盛り上がりましょう。

日にち:12月20日(木)
時間:13:30~15:00
場所:UR12号棟 集会室

演目予定

- ◎ サルサ
ひろばでお馴染みの ERIKO 先生と一緒に踊りましょう
- ◎ ふりっじ音楽隊
みんなで演奏したり、歌ったりして、楽しもう♪
- ◎ フルーツバスケット
どんなお題が出るかは、お楽しみ。大笑いすること



保護者同士や地域とのつながりをつくる

山下商店街で食べよう! 遊ぼう! 楽しもう!

山下秋の味覚まつり

2017 秋の味覚と音楽を楽しむ一日 雨天決行
11月3日(祝・金)午前11時~午後4時
場所: 山下商店街あじわい通り特設ステージと商店街通り

あじわい通り・北のあじわい通りで秋の味覚を楽しもう!

お楽しみプレゼント!

イベント抽選 800名様 にプレゼント!

11月~ 先着400名様に「靴」をプレゼント(キッズエリア)
14日~ 先着400名様に「あやこ」をプレゼント(キッズエリア)
14日~ 先着400名様に「あやこ」をプレゼント(キッズエリア)

地域の防災・防犯コーナー

遊びのキッズエリア

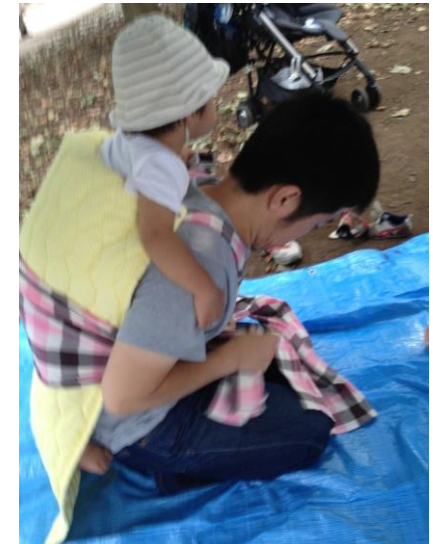
お楽しみプレゼント!

イベント抽選 800名様 にプレゼント!

11月~ 先着400名様に「靴」をプレゼント(キッズエリア)
14日~ 先着400名様に「あやこ」をプレゼント(キッズエリア)
14日~ 先着400名様に「あやこ」をプレゼント(キッズエリア)



まつりにでてきたところをキャッチ!
「つながり」とは何か。
どう仕掛けたら
「つながっている」と感じられるか?





みちに落書きしてもいいんですか？

防災 × コミュニティ

地域防災はじめての一步

～美味しい炊き出し体験～

日時：3月3日(土曜日) ※雨天中止

10:00～13:00

場所：UR芦花公園団地12号棟前広場

〒157-0062 世田谷区南鳥山2-30

- 「かまどベンチ」で火おこし体験
～焼き芋、焼きリンゴ、遊ぼうパンをやってみよう～
- 簡単テントをたててみよう！
- 七輪で焼きマシュマロ
- エネポで充電ステーション設置
- 水消火器の当て
- からびよん塗り絵
- 災害ビスケットでデザートづくり
- すいとんを作って豚汁に入れよう！

お土産に、からびよんグッズと災害ビスケットが
もらえるよ！ からびよんに会いに来てね！！



【お問い合わせ】

おでかけひろばぷりっじ@roka 03-3309-8115

鳥山総合支所地域振興課 03-3326-9249

協力団体：UR都市機構 芦花公園団地自治会 第二いちご保育園
鳥山地域の力を集める会 せたがや防災NPOアクション NPO法人せたがや子育てネット



- ★「地域の防災訓練には
若い世代がなかなか参加しない」
- ★団地の自治会は高齢化していて、
新しいことは生み出せない
- ★昼間は出かけていて、夜帰ってくるだけ。
顔見知りがない

→子育て世代と繋がる団体が運営したら
400人参加！多世代プログラムに。



保護者や地域の姿「困り感」「クレーム」を チャンスととらえて活動を生みだしていく

30代40代の自転車事故が増えているんですよ・・・お年寄りも怖がっています。どう啓発したらいいか悩んでいて。(交通安全自転車課)

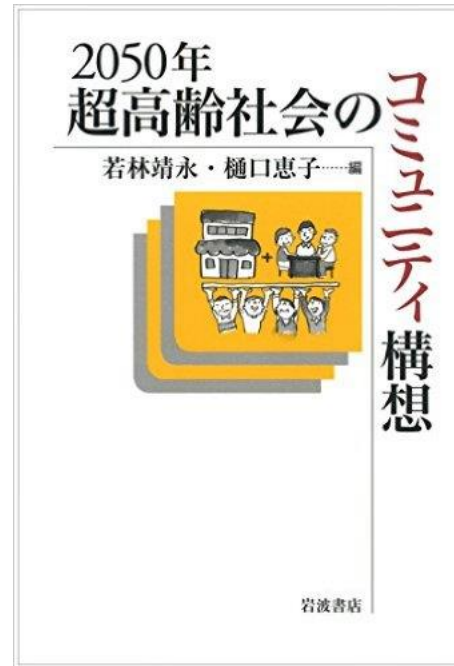
保育園や幼稚園に通うのに自転車選びを聞かれることが多いんです。おんぶも体得して安全に乗ってほしい(子育てNPO)



「誰かに相談したかったんです！」
狙った人がしっかり来てくれる

他のひろばでも実施したいということになり、コンテンツ化され、依頼するときしてくれるシステムに！

まちも人も強みを見つけよう



「2050超高齢社会のコミュニティ構想」
(岩波書店)
第5章
「支援の受け手が
支え手にもなる
地域社会」

ちょっとした「ヒント」をつかみ
親子の関係や毎日の暮らしを
ダイナミックに変化させる力を
当事者は持っている。

赤ちゃんとのふれあい授業

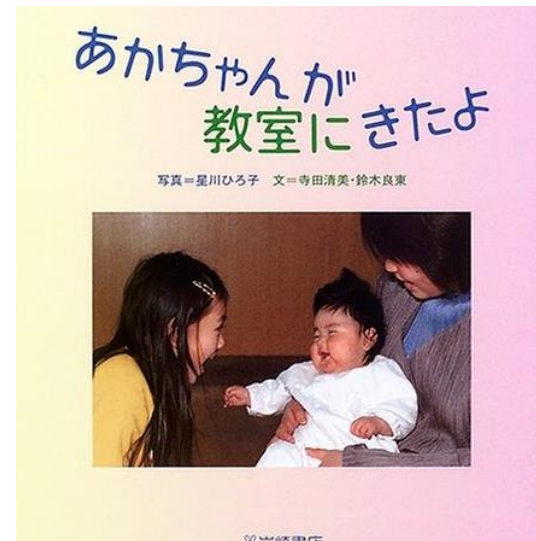
現状:初めての子どもが生まれる前に
赤ちゃんの世話をしたことのない親が
4人のうち3人(横浜市・2013年)

目的:次に親になっていく世代が
子どもがいる暮らしを見聞きし、成長発達
のイメージを得る
子育てする人生を選んだ人との出会い

自分が生まれてきたこと
を「根っこ」と捉えて
自己肯定感が高まる

子育て中の親に
地域での役割をつくる
「ティーンエイジャーに体験をプレゼント」

未来志向で。循環を生み出す



「おんぶ」を伝えるのは誰？ いつの時代も当事者たち。 ミクロに。ていねいに。



♪ げんこつやまのためきさん ♪

おっぱいので 抱っこして
ねんねして おんぶして また明日

げんこつやまプロジェクト

∞ たかが抱っこ されど抱っこ

GENKOTSU

げんこつやまプロジェクト

YAMA

Project

「子どものいる暮らし」のスタートに大切なことは「げんこつやまのためきさん」の中にありました。
おっぱいのでねんねして、赤ちゃんが泣いたら抱っこしておんぶする…
そして「また明日ね」って声をかけ合えるコミュニティと繋がっていくこと。
「げんこつやまプロジェクト」は親子の関係づくりや、地域の子育て支援のお手伝いをします！

わたしたちのプロジェクト

抱っこが変わると子育てが変わる！？
見て聞いて触って感じていく時間

⇒ For 親子

抱っことおんぶの練習会
講座・イベント
🕒 60～120分

⇒ For 支援者

支援者保育者むけの研修や
コンサルテーション
🕒 60～120分

午前・午後で両方を組み合わせるプランもおススメです。
その他リクエスト(困りごと)もお気軽にお問い合わせください！

→ 《テーマ案》
地域に開かれた子育て支援
保護者会と職員研修をセットで！

みなさまからの感想

ママ 赤ちゃんが軽く感じられて、目からウロコでした。いっぱい抱っこして、おんぶもしてみようと思います。

心からママになったような気がして泣きそうになりました。 赤ちゃんが自分に抱きついてくる感じがあって、可愛くて嬉しくなった！

抱っこ・おんぶだけでなく、子どもの接し方やセルフケア等も知ることができて、とても良かったです。

パパ 大変勉強になった。自分ができることに取り組んでいこうと思った。

支援者 大変勉強になりました。タッチの仕方、子どもやママへの声かけ、関わり方のコツが分かってきました。

面白かったので、地域のお母さんたちにも伝えたいと思います。

リュック式のおんぶの仕方に興味があり、目の前で見て、すぐやってみることができてよかったです。

内部研修で、若手保育士におんぶを知って欲しいと考えていましたが、ベテラン保育士も「目からうろこ！」な内容でした。子どもに身体に沿ったおんぶの大切さを知りました。

抱っこしておんぶしてまた明日♪

居場所って？

- い いつでも
- ば ばつが変わるくても
- し しんどいときこそ
- よ よっていい！

まちの居場所の「キモ」は 中間支援機能

- **ぶりっじ機能**

誰かと誰かをつなぐ
ナニカとナニカをつなぐ

- **アジト機能**

自分をわかってくれる仲間
ナニカをたくらむ

- **トランポリン機能**

うっかりおっこちても、受け止めてくれる
跳ね上げてくれ、しかるべきところへ戻れる

「私たちができることってなんだろう」

問い続けること。あなたに関心があるよと伝えること。

予防的に関わる

「こんなことでもいいのかな」軽微なことでも相談し慣れもらう
「場」で支える。「環境」を日常的に見せていくことでも解決する
課題を切り取ると辺境化するくありのままに地域で包摂される

ストリングスに着目

興味関心、経歴にじっくりアプローチ→居場所と出番ができる

モニタリング機能

見守りだけでなく、ちょっと踏み込める(直接的にも、間接的にも)

災害時を想定して

乳幼児のいる家庭の地域の暮らし「つながっておく」

なかったらつくる！

小さな、パーソナルなものから。資源の開発

必ず誰かが応えてくれる(解決しないとしても)という根っこをつくる
「子どものいる暮らし」をともにつくっていく仲間と見守る人がいるよ

「子どものいる暮らし」をまちに「ひらく」

「みかんください！」

「ご自由に」

「ちょっと寄ってく？」



根岸博士 発見の10項目

